



活動報告(抜粋)

- 7/ 1(火) 新人議員施設見学会
- 17(木) 人権審議会
- 22(火) 文教厚生常任委員会行政視察(東京都文京区)
- 23(水) 文教厚生常任委員会行政視察(福島市)
- 24(木) 文教厚生常任委員会行政視察(秋田市)
- 25(金) まちづくり特別委員会
- 30(木) 幼稚園教育審議会
- 8/ 2(土) 民主党女性議員ネットワーク会議
- 3(日) 民主党女性議員ネットワーク会議
- 5(火) 子育て・教育・高齢化社会問題調査特別委員会
- 11(月) 養父郡男女共同参画研修会
- 11(月) 臨時議会
- 18(月) 幼稚園教育審議会
- 22(金) 西宮市教育研究集会
- 25(月) 民主党第6区常任幹事会
- 30(土) 芦屋市教育研究集会
- 9/ 2(火)~5(木) 本会議
- 6(土) 連合兵庫政策フォーラム
- 9(火) 文教厚生常任委員会
- 17(水) 本会議
- その他 市民ネット学習会(週1回)、関係団体の会議など



議会報告 北野さと子の一般質問及び主な答弁 ~抜粋~

1. 男女共同参画社会の実現について

男女共同参画に対する市長の基本姿勢について

性別や年齢によるパターンにこだわらず、誰もが「自分らしく」ライフスタイルを選択し、自立し、安心し、元気になる・・・それが男女共同参画社会です。

昨年6月に宝塚市男女共同参画推進条例が制定されました。そしてその条例に基づく施策が進んでいますが、男女共同参画に対する市長の基本姿勢

についてお伺いいたします。

具体的取り組みについて

- ・女性のチャレンジ支援ネットワーク環境の整備
- ・ポジティブアクションの推進。政策方針決定過程への女性の参画を拡大するため、特に行政の管理職登用など、積極的差別是正措置(アファーマティブ・アクション)を。
- ・セクシャルハラスメント対策やドメステ

ックバイオレンス対策。

- ・社会教育としての男女平等教育。とりわけ、人権に密接に関わる仕事をしている人たちへの教育は緊急課題ではないか。

市長答弁

男女が「性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮する」男女共同参画社会の実現が「21世紀の我が国社会を決定する最重要課題」である。

2. 福祉行政の充実について

「障がい」者生活支援事業 ピア(=仲間)カウンセラー養成講座

障がいのある人が、同じ仲間である他の障がい者の相談や生活支援を行うのが、ピアカウンセリングであり、気持ちがよく分かり合えることで安心するなど、非常に有効な施策です。ピアカウンセラー養成のための支援をお願いいたします。

高齢者や「障がい」者へのパソコン講座の拡充

視覚障がい者のための音声入力ソフトや、聴覚障がい者のためのタッチパネル操作のシステム導入、携帯電話の活用など、様々な個々のニーズに応える対応をお願いいたします。障がいがある人の交流や情報交換の範囲が広がっていくのではないのでしょうか。

子育て困難な家庭に対して、福祉と教育の両面から多角的な支援をするための連携

子育て困難な環境にいる児童・生徒

や保護者に対して、教育と福祉の両面から多角的な支援をするために、現場の教職員が研修や情報交換の場に積極的に出席できるように連携をとっていただきたいです。子どもに関わりのあるまわりの大人がネットワークを作り、子どもの人権を守っていくことが大切です。

右岸地域の児童館新設及び既存施設の開館時間延長

中学生の居場所プラス活動支援のできる場が必要です。そのために、新たな児童館作りや、既存施設の開館時間延長を検討していただきたいと思えます。

市長答弁

ピアカウンセラー養成、及びパソコン講座拡充につきましては、今後も努力してまいります。教育と福祉の両面から多角的な支援をするためのネットワークづくりに関しましても教育委員会と連携しながら研修や情報交換の場を作ってまいります。

3. 教育行政の推進について

特別支援教育について

通常の学級で学ぶ特別な支援が必要なADHD、LD、高機能自閉症等の児童・生徒は、全体の約6パーセントいるといわれています。特別な教育ニーズをもつこれらの児童・生徒を的確に理解すること、効果的な指導のあり

方を探ること、学校全体で支援する体制を作ることは、現在重要な課題となっております。

当面の中学校問題について

緊急教育課題をかかえている中学校の教職員の超過勤務の実態から、教育現場の状況理解が深まることを願って

おります。授業に入らない子どもの多くが、家にもいられない、公園やコンビニにいれば通報され追い出される・・・どこにも居場所がなくて、夜も学校にやってくるのです。教職員はその対応に追われます。休日は部活動の指導です。4月から一日も休んでいないという教職員が何人もいることをご存じですか。少しでも子どもと向き合う時間を確保しようと、努力を続けているのが現状です。どうか、教職員が意欲を持ってがんばれるような教育環境を作ってください。人を育てるのは、人であることをふまえ、教育現場への支援をよろしく願いいたします。

「障がい」がある児童生徒の課題解決のための介助員増員

「障がい」がある児童の課題解決のための介助員配置の現状をお聞かせください。大事なことは、その子の存在を否定しないことです。その子が、まずそこにいることを大事にする中から、その子のもっている温かさとか優しさが、一緒に生活するとみえてくるのです。そのためには、学校教育のあらゆる場面に、どの子も参加することができるように、きちんと対処する責任が学校にはあるはずです。「医療的ケア」の必要な子どもへの対応についても、「医療的ケア」と「生活介助」のとら

え方もわずかの違いしかありません。医師の指示・指導をきちんとうけたうえで、対応できる人をつける・・福祉関係諸機関との連携も含め、サポートの方向性をさぐるべきではないでしょうか。

心のケアの必要な子どもたちのための「子ども支援サポーター配置」の拡充 青少年の健全育成について

学校図書館司書の配置

学校図書館間、学校と公立図書館の情報・物流ネットワークの構築



教育長答弁

生徒指導上の緊急課題克服のために教育再生プロジェクト委員会を立ち上げました。また、児童・生徒支援加配教員の配置につきましても、県教育委員会に対し強く強く要望を重ねるとともに、全力で学校の支援に努めてまいります。

質問の詳細はホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

文教厚生常任委員会（9月9日）報告

2つの請願についての審議と、仁川幼稚園の3年保育についての審議がおこなわれました。採択された請願は次のとおりです。

第11号 教育条件整備のための請願

第12号 教育基本法「改正」への慎重な審議、国民的な論議と合意の形成及び教育基本法に基づく施策をすすめる意見書を国に提出することを求める請願

活動トピックス

本会議が始まる前に議場で写真撮影がありました。それに対してあらかじめ議員に連絡プリントが配布されました。

「当日は、スーツ・ネクタイ着用のこと！」・・・(女性議員はそれに準ずる服装)私は、何日も何を着てこようかと悩みました。要するにキチッとした服装をすればいいということはわかっているのですが。私もネクタイを持っていますので、あえて問題提起として、スーツ・ネクタイ着用でパシッと決めてみようかなと思ったりしたのです。また、スカートで優雅にまとめてみようかなとも考えました。結局、光り物で中途半端な主張をすることになってしまいました・・・。ネクタイでもスカートでも、私は私自身であることには変わりはないのです。なぜ、<男性に準ずる・・・>かという

と、女性には慣例というものがないからなのです。宝塚市議会会議規則第105条に「議場に入る者は、帽子、外套、襟巻き、杖、傘の類を着用し、又は携帯してはならない」とあります。これを読んでも、基準が男性であることがわかります。男性と女性を固定観念に基づいて表現するのではなくてそれぞれの多様な生き方を積極的に表現するようにすべきです。また、女性・男性のみならず、いろいろな人と人を「対等な関係」として表現しましょう。そういったことの積み重ねが、人権を尊重すること そのものにつながります

このようなことを一般質問の中で話しました。光り物発言では市長をはじめ議場の笑いを誘ったんですよ。小さな声でも、伝えていきたいです。

今後の予定

10/9(木) 幼稚園教育審議会

10/10(土)～11日(日)

「全国男女共同参画宣言都市サミット in 新居浜」

11月

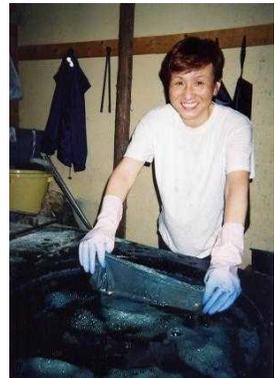
子育て・教育・高齢社会問題調査特別委員会行政視察

11/11(火)～14(金)、17(月) 決算特別委員会

12/2(火)～5(金) 本会議(一般質問)

12/8(月)～11(木) 常任委員会

12/16(火)、17(水) 本会議



編集後記

私にとっての2回目の定例市議会が終わりました。質問をまとめるために、ひと夏かかって勉強勉強の日々・・・!?バテバテになりましたし、当日はやっぱりブルブル震えてしまいました。もっと落ち着いて発言できるように修業しなくてはダメですね。

そして仕事の合間に、議会のこと市役所のこと、それらの場所で働く人々を興味津々ウォッチング まだまだ1年生議員の探検は続きます。

ホームページを開きましたので、ぜひご覧くださいね。これからもどうぞよろしくお願いします。

2003年10月 北野さと子

発行人 北野 さと子

連絡先 〒665-0034

宝塚市小林2丁目12-27-209

Tel&Fax

0797-73-4556

ホームページ

<http://www.kitanosatoko.com/>